

審議会等の会議の記録

会議の名称	第4回伊勢崎市社会教育委員会議
開催日時	令和8年3月19日(木)午後2時00分～午後4時20分
開催場所	宮郷公民館 研修室1・2
出席者氏名	(社会教育委員) 栗原議長、小林委員、相川委員、細野委員、高橋委員、 渡辺委員、福本委員、常木委員、赤石委員、西村委員、 永田委員、荻原委員、久保田委員、大前委員、丸橋委員 (行政関係者) 高橋生涯学習課長、山片課長補佐、川田課長補佐、黛課長補佐、 竹中主査(茂呂公民館職員)、小林主査(境公民館職員)
傍聴人数	0人(公開)
会議の議題	1. 開会 2. あいさつ 3. 報告・協議事項 (1) 子ども未来会議を参観して (2) 社会教育関係職員等研修会研究報告 (3) 今年度のまとめと来年度に向けて 4. 連絡事項 事務局より連絡
会議資料の内容	資料1 令和7年度第4回伊勢崎市社会教育委員会議 資料2 議論のまとめ(中間報告)
会議における議事の経過及び発言の要旨	1. 開会 2. あいさつ 伊勢崎市生涯学習課 課長 高橋 浩一 伊勢崎市社会教育委員会議 議長 栗原 ウメ子 3. 報告・協議事項 (1) 子ども未来会議を参観して ○参観した社会教育委員が未来会議の様子を報告 ・第一中学校区子ども未来会議を参観して 【委員】・子供たちが主体となって会議を進めており非常によかった。 ・第三中学校区子ども未来会議を参観して 【委員】・「いじめ未然防止活動」をテーマとしたよい発表だったので、より多くの人に聞いてもらえるとうい。 ・殖蓮中学校区子ども未来会議を参観して

【委員】・「よりよい学校を作るために」というテーマで話し合いが行われた。今年度は、「思いやり」に加え、「相手との距離感を考える」や「相手の気持ちを考える」という意見が出た。

・赤堀中学校区子ども未来会議を参観して

【委員】・「地域から愛される学校を目指して」をテーマにした話し合いから、子供たちと地域との関わりの様子がうかがえた。小・中学生が意見を出し合ったり、聞き合ったりする活動が有意義だと感じた。

・あずま中学校区子ども未来会議を参観して

【委員】・「不登校・いじめ」をテーマに意見をまとめ発表した。卒業式の様子についての紹介もあった。

・境地区子ども未来会議を参観して

【委員】・2つ参観したが、中学校区によって発表形態が異なっていた。

・タブレットを活用して発表し、視覚的にわかりやすかった。タブレットを活用した場合にも、相手の顔を見てのコミュニケーションを大事にしてほしいと感じた。

(2) 社会教育関係職員等研修会研究報告

【発表者】〈研究テーマ〉

「あなたに届けたい ～公民館の情報発信力を強化せよ～ SNSによる公民館情報の発信について」

・当初の課題…若年層（20～30代）では、約35%の人しか広報紙を読まない。

・インスタグラムは、SNSの中でも若年層に人気があり、広報紙を読まない若年層への情報発信に向いている。

・インスタグラムで、公民館講座の実施情報だけでなく、実施報告も載せ、生涯学習の推進に資するように、公民館インスタグラム運用ガイドラインを策定。

・全公民館で継続的に運用できるインスタグラムになるように、編集しやすいフォーマットや投稿マニュアルを作成。

・即時性のある情報発信ができようInstagramを作成してから投稿するまでの運用体制を構築

・個人が特定できる画像使用等の個人情報掲載確認を、講座募集時や講座終了後のアンケートで実施。

・Instagramの運用により、広報紙の閲覧頻度の低い若年層への効果的な情報発信や固定のフォロワー以外への情報発信もできている。

・今後も積極的な情報発信を継続して実施し、市民の生涯学習の推進を図っていききたい。

【委員】・Instagramの情報は、市民以外にも発信されるのか。また、同意書は公民館利用者からとるのか。

【発表者】・講座の申込書の中や講座のアンケートの中に個人情報掲載に関する同意書があり、最大限の注意を払っている。

【委員】・個人情報掲載について、利用者の危機意識がどのくらいあるかがわからない。とてもいい取組であるが、個人情報掲載については配慮が必要。

【発表者】・個人情報の同意をとり、十分に配慮しているが、今後取り扱いについては研究を進めていく。

【委員】・アカウントのつとりの問題もあると思うが、対策はどうか。

【発表者】・パスワードを定期的に変更するなど、対策を行っている。

(3) 今年度のまとめと来年度に向けて

○「議論のまとめ(中間報告)」について

【事務局】・今年度話し合ってきたことについて振り返り、資料について説明

「地域で子供を育てる ～今ある社会教育の場で子供たちに豊かな体験を～」

0. はじめに

1. 地域行事は子供の学びの場(イベントを一覧にする【伊勢崎市社会教育の春夏秋冬】)

2. 子供を単なる参加者から「パートナー」へ(子供の地域活動への参画)

3. 社会教育でつくる、「子供の育ち」のサイクル

4. 結びに代えて

※議長から「議論のまとめ(中間報告)」を教育長に提出することが提案され、承認される。

○令和8年度社会教育委員会議年間計画等について(予定)

○第57回関東甲信越静社会教育研究大会群馬大会 令和8年度群馬県社会教育研究大会 開催要項(案)について

4. 連絡事項

○社教連会報について

○「諮問機関等の委員の任期」について

○人権啓発カレンダーについて

【事務局】今年度の会議において検討していただいたことが「議論のまとめ(中間報告)」として形になった。来年度は任期2年目となるが、今後も本市の社会教育行政において、ご理解ご協力をいただくとともにご指導いただければありがたい。

5. 閉会